



## 宮武博議長が続投

5月臨時岡山市議会  
申し合わせ任期满了にもかかわらず

議員任期の半分の2年経過した5月臨時議会では、議長、副議長人事を行うという、議会の申し合わせがあります。

### 議長副議長人事が焦点

異例の展開の始まりは、議長が辞表を提出しなかったことです。副議長は申し合わせどおり辞表を出し、新副議長が決まりました。

宮武議長の行動は、自民党会派内で議長候補として3名が手を挙げたため、会派内で一本化する調整がされていたが、まとまらないという事情が背景にありました。

### 議長不信任決議可決

18日、議会申し合わせに反すると議長不信任決議が、1970年以来の可決となりました。投票は、賛成30、反対11、無効2、自民党会派23人からも賛成議員がいたということが注目点です。今後、議長選をめぐる火種がくすぶり続けるのでしょうか？

### 議長辞職しないと表明

翌日会派代表者会議で、宮武議長は辞職しない旨を表明し、続投となりました。議長不信任決議を突きつけられた、宮武議長のもとで議会は後半2年の新体制を決めました。

この議会で、議長不信任決議は無視され議会の権威は失墜しました。また会派政治が市民を置き去りにしたまま、進んでいるように感じてなりません。

私自身は、市民に軸足をおいた議会活動を、困難に立ち向かいながらも、進めていかなければと、あらためて心に誓いました。

今後2年間は、市民文教委員会と、活力と魅力あふれる区づくり特別委員会に所属することとなりました。

## 認知症はこんな病気

症状は大きく分けて2つあります。認知症の誰もが起こる中核症状は、記憶障害、見当識障害、理解・判断力の低下、実行機能の低下などです。次に、人によって異なる症状が生活動作の支障や、もの盗られ妄想、徘徊などといった行動上の問題が起きます。

予防として、脳血管性認知症には、高血圧、高脂血症、肥満などの対策、アルツハイマー型認知症には、運動や食事など生活習慣病対策が有効です。

### 人権の尊重を

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。認知症の人は何もわからないではありません。一番心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

そのことを踏まえた上で1.まずは見守る 2.余裕をもって対応する 3.声をかけるときは1人で 4.後ろから声をかけない 5.相手に視線をあわせてやさしい口調で 6.おだやかに、はっきりした話し方で 7.相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応することなど、相手の人権の尊重に気をつけなければなりません。(5月9日おしゃべりネットでのお話より)

高齢者に関するご相談があれば、お近くの地域包括支援センターに、お問い合わせください。

### 下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼6/4(日) 第36回ひまわりマーケット  
10:00～ 高屋公園(岡山市中区高屋)  
※フリーマーケット出店者募集! *必切らん*  
1ブース(2.5m×2.5m) 300円
- ▼6/8(木)～26(月) 6月定例市議会
- ▼6/27(火) 映画上映会  
14:00～ 下市このみ事務所